

平成22年度
静岡県訪問看護ステーション実態調査

報告書

静岡県訪問看護ステーション協議会

平成22年度 静岡県訪問看護ステーション実態調査

I 目的

静岡県内の訪問看護ステーション数は平成16年度をピークに減少し、ここ数年は126から127とほぼ横ばい状態です。伸び悩んでいる訪問看護ステーションを支援するために国が実施した訪問看護支援事業を展開する中で、「訪問看護」を知らない住民が多いことがわかりました。

本調査は、訪問看護ステーションの実態を把握し、今後の調査活動の照準とともに、今後の訪問看護ステーション活動の発展向上に役立てることを目的としています。

II 調査概要

(1) 調査対象

静岡県内の現存する訪問看護ステーション 123ヶ所
(東部45ヶ所、中部34ヶ所、西部44ヶ所)

(2) 回答件数

123 (回収率 100%)

(3) 調査内容

- ① 訪問看護ステーションの届出状況
- ② 訪問看護のステーションの実施状況
- ③ 訪問看護師の就業状況

III 調査方法

郵送配布、郵送回収（自記方式）

IV 調査期間

平成22年9月10日～11月20日

調査基準日：平成22年9月1日～30日

V 調査結果

1. 訪問看護ステーションの概要

1) 設置主体

「医療法人」が39ヶ所(31.7%)と最も多く、次いで株式会社・有限会社の営利法人が33ヶ所(26.8%)であった。社会福祉法人が12ヶ所(9.8%)と続くが、その他は10ヶ所以下であった。

表1 設置主体別割合 (n=123)

設置主体	件数	割合
公立	8	6.5%
日赤	3	2.4%
医療法人	39	31.7%
医師会	2	1.6%
看護協会	4	3.3%
社団法人・財団法人	7	5.7%
社会福祉協議会	4	3.3%
社会福祉法人	12	9.8%
共同組合・連合会	1	0.8%
農業協同組合連合会及び農協共済	9	7.3%
株式会社・有限会社	33	26.8%
特定非営利活動法人	1	0.8%
計	123	100.0%

2) 同一法人の併設医療機関

同一法人の併設医療機関は「併設あり」が69ヶ所(56.1%)、「併設なし」が54ヶ所(43.9%)であった。「併設あり」のうち、病院・診療所共に併設しているのは10ヶ所(8.1%)、病院のみが44ヶ所(35.8%)、診療所のみが15ヶ所(12.2%)であった。

3) 同一法人の併設事業

同一法人で「併設事業を実施している」のは105ヶ所(85.4%)、「併設事業なし」は18ヶ所(14.6%)であった。併設事業の内訳は、居宅介護支援事業が最も多く97ヶ所であった。これは併設ありと回答した105ヶ所の92.4%である。次いで多かったのが訪問介護、通所介護で、49ヶ所であった。「同一法人の併設事業」という設問のため、療養通所介護は6ヶ所であった。

2. 利用者の状況（平成22年9月1日～9月30日の1ヶ月）

1) 利用者の年齢・性別

平成22年9月の1ヶ月間に訪問看護を利用した総人数は8,894人であった。男女比率は、男性が3,951人(44.4%)、女性は4,943人(55.6%)と女性が多い。年齢別では、男女共に75～89歳が最も多く、訪問看護利用者全体のほぼ半分である。

2) 保険別の利用者数・訪問回数

利用者数を保険別でみると、介護保険が7,206人(81.0%)、医療保険1,656人(18.6%)、その他32人(0.4%)であった。

保険別の延べ訪問回数は、介護保険38,548回(64.7%)、健康保険11,975回(20.1%)、その他134回(0.2%)であった。

表8 利用者の年齢別・性別数

	男性	女性	計	
	人数	人数	人数	割合
1～15歳	57	45	102	1.1%
16～39歳	88	69	157	1.8%
40～64歳	527	451	978	11.0%
65～74歳	869	730	1,599	18.0%
75～89歳	2,018	2,540	4,558	51.2%
90歳以上	392	1,108	1,500	16.9%
計	3,951 (44.4%)	4,943 (55.6%)	8,895 (100%)	

表9 保険別利用者数と延べ訪問回数

	利用者数		訪問回数	
	人数	割合	回数	割合
介護保険	7,206	81.0%	38,548	76.1%
健康保険	1,656	18.6%	11,975	23.6%
その他	32	0.4%	134	0.3%
計	8,894	100.0%	50,657	100.0%

図5 保険別訪問利用者数

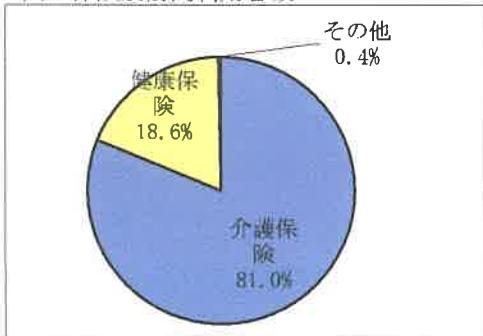
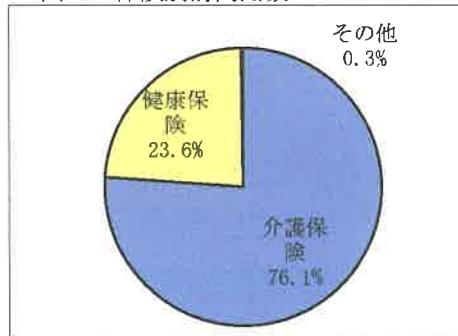


図6 保険別訪問回数



3) 介護保険利用者の内訳（再掲）

介護保険利用者を介護度別にみると、要介護5が最も多く、1,875人(26.0%)であった。次いで要介護4が1,456人(20.2%)と多い。

介護度別の訪問回数も要介護5が最も多く11,409回(29.6%)であった。要介護5と要介護4で訪問回数全体の50%である。

表10 介護保険の介護度別割合

	利用者数		訪問回数	
	人数	割合	回数	割合
要支援1・2	552	7.7%	2,340	6.1%
要介護1	911	12.7%	4,505	11.7%
要介護2	1,176	16.3%	6,037	15.7%
要介護3	1,154	16.0%	5,879	15.2%
要介護4	1,456	20.2%	7,931	20.5%
要介護5	1,875	26.0%	11,409	29.6%
申請中	82	1.1%	447	1.2%
計	7,206	100.0%	38,548	100.0%

図7 介護度別利用者の割合

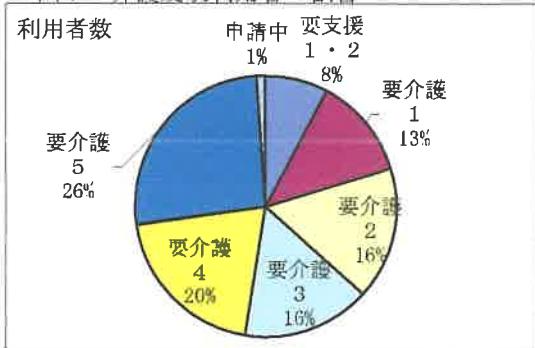
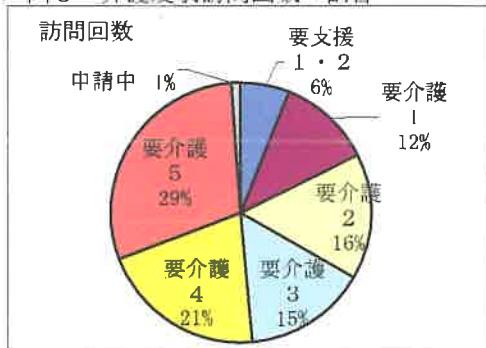


図8 介護度別訪問回数の割合



4) 在宅での看取り件数

平成21年度中の在宅での看取りの件数は、総数で1299件であった。

看取り件数は、1~5件のステーションが最も多く33ヶ所 (26.8%) であった。

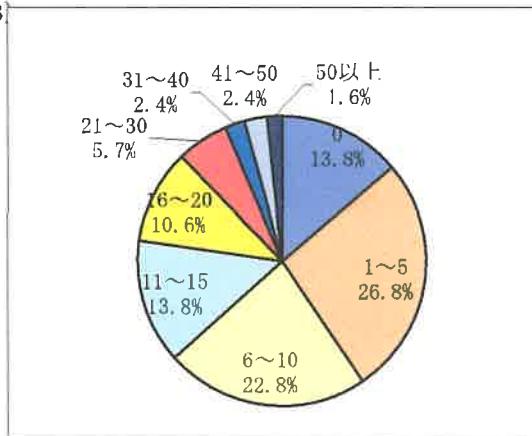
看取り0件のステーションは17件 (13.8%) である。看取りが21件以上のステーションは15ヶ所 (12.2%) あり、その内50件以上の看取りを行っているステーションが2ヶ所 (1.6%) あった。

看取りを行ったステーションの内、24時間対応体制加算の届出をしていないステーションが6ヶ所、緊急時訪問看護加算の届出をしていないステーションが1ヶ所、24時間対応体制加算と緊急時訪問看護加算の両方の届出をしていないステーションが6ヶ所であった。

図9 看取り件数の割合

表11 看取りの件数 (n=123)

看取り数	ST数	割合
0	17	13.82%
1~5	33	26.83%
6~10	28	22.76%
11~15	17	13.82%
16~20	13	10.57%
21~30	7	5.69%
31~40	3	2.44%
41~50	3	2.44%
50以上	2	1.63%
計	123	100.00%



5) 医療処置の実施概況

123ヶ所 (100%) が実施しているのは、服薬のみであった。褥瘡の処置は122ヶ所 (99.2%)、経管栄養は121ヶ所 (98.4%)、吸入・吸引が120ヶ所 (97.6%) であった。在宅腹膜灌流に対応するステーションは最も少なく66ヶ所 (53.7%) であった。PT・OTによる在宅リハビリは68ヶ所 (55.3%) が実施している。

表12 医療処置の実施状況 (n=123)

	可		不可	
	ST数	割合	ST数	割合
点滴・静脈注射・持続皮下注射	115	95.3%	8	6.5%
中心静脈栄養	104	84.6%	19	15.4%
在宅自己腹膜灌流	66	53.7%	57	46.3%
ストーマケア	117	95.1%	6	4.9%
在宅酸素療法	119	96.8%	4	3.2%
人工呼吸器	91	74.0%	32	26.0%
気管カニューレ	110	89.4%	13	10.6%
吸入・吸引	120	97.6%	3	2.4%
服薬	123	100.0%	0	0.0%
経管栄養（経鼻・胃・腸瘻）	121	98.4%	2	1.6%
褥瘡の処置	122	99.2%	1	0.8%
膀胱留置カテーテル	120	97.6%	3	2.4%
ペインコントロール	108	87.8%	15	12.2%
在宅リハビリ（看護師による）	118	95.9%	5	4.1%
(PT・OTによる)	68	55.3%	55	44.7%

表2-2 同一法人の併設事業の内訳（複数回答、n=408）

事業の種類	件数	割合
訪問介護	49	12.0%
訪問入浴介護	8	2.0%
訪問リハビリ（医療機関）	13	3.2%
療養通所介護	6	1.5%
通所介護	49	12.0%
通所リハビリ	43	10.5%
福祉用具貸与	9	2.2%
短期入所生活介護	14	3.4%
短期入所療養介護	24	5.9%
ケアハウス	9	2.2%
認知症対応型グループホーム	18	4.4%
居宅介護支援	97	23.8%
小規模多機能事業所	11	2.7%
特別養護老人ホーム	15	3.7%
老人保健施設	28	6.8%
その他	15	3.7%
計	408	100.0%

表2 同一法人の併設事業の有無（n=123）

	件数	割合
併設事業あり	105	85.4%
併設事業なし	18	14.6%
計	123	100.0%

4) 加算等の届出状況

加算の届出状況は、「特別管理加算」が115ヶ所（93.5%）と最も多く、次いで「緊急時訪問看護加算」と「ターミナルケア体制加算」が105ヶ所（85.4%）である。「居宅療養管理指導」が最も少なく13ヶ所（10.6%）であった。

表3 加算等の届出状況（n=123）

加算の種類	有		無	
	件数	割合	件数	割合
緊急時訪問看護加算	105	85.4%	18	10.6%
特別管理加算	115	93.5%	8	6.5%
ターミナルケア体制加算	105	85.4%	18	14.6%
24時間対応体制加算	98	79.7%	25	20.3%
24時間連絡体制加算	22	17.9%	101	82.1%
重症者管理加算	104	84.6%	19	15.4%
居宅療養管理指導	13	10.6%	110	89.4%
サービス提供体制強化加算	81	65.9%	42	34.1%

5) 契約による訪問の状況

契約による訪問は、「認知症対応型グループホーム」が24ヶ所（19.5%）ある他は殆ど実施されていない。

表4 契約による訪問の状況（複数回答、n=369）

施設の種類	有		無	
	件数	割合	件数	割合
認知症対応型グループホーム	24	19.5%	99	80.5%
特定施設	4	3.3%	119	96.7%
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	3	2.4%	120	97.6%
計	31	8.4%	338	91.6%

6) 職員体制（平成22年9月の状況）

職種別でみると、「看護職員」は815人（73.0%）、「リハビリ職員」は204人（18.3%）、「事務職員」74人（6.6%）「その他」24人（2.1%）であった。

「看護職員」を職種別にみると、看護師が751人（91.1%）と最も多く、次いで准看護師が50人（6.1%）であった。保健師は11人（1.3%）、助産師は3人（0.4%）と少ない。

職員全体の常勤・非常勤別では「常勤」628人（56.2%）「非常勤」489人（43.8%）であった。看護職だけでは「常勤」436人（看護職者815人に対して53.5%）、非常勤379人（看職員数815人に対して46.5%）である。リハビリ職員だけでは「常勤」121人（リハビリ職員204人に対して59.3%）「非常勤」83人（リハビリ職員204人に対して40.7%）である。

表5 職種別・勤務形態別職員数（平成22年9月現在）

職種	勤務形態	常勤		常勤の計	非常勤の計	常勤・非常勤の計	常勤換算合計	常勤換算平均	
		専従	兼務						
看護職員	保健師	2	7	9	379	2	7.7	4.78	
	助産師	1	0	1		3	2.2		
	看護師	302	95	397		751	544.0		
	准看護師	24	5	29		50	34.0		
リハビリ職員	理学療法士	36	56	92	83	158	77.7	0.85	
	作業療法士	18	9	27		40	26.0		
	言語療法士	1	1	2		6	1.8		
事務職員		19	30	49	49	25	74	48.3	0.39
その他		21	1	22	22	2	24	22.0	0.18
計		424	204	628	628	489	1117	763.7	6.20

図1 職種区分の割合

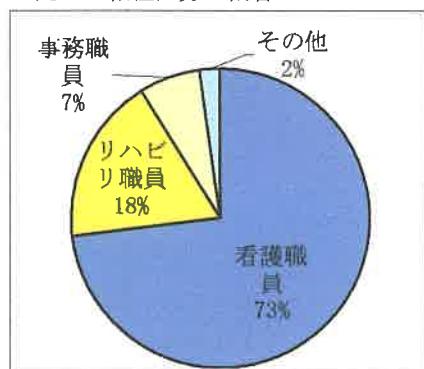


図2 看護職員の職種別割合

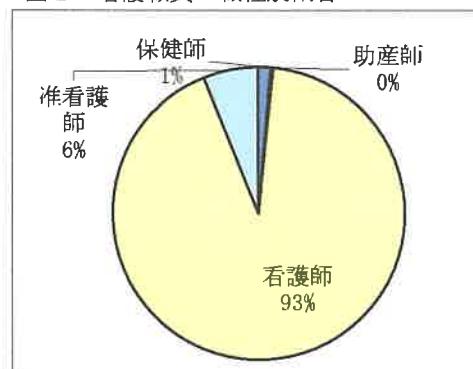
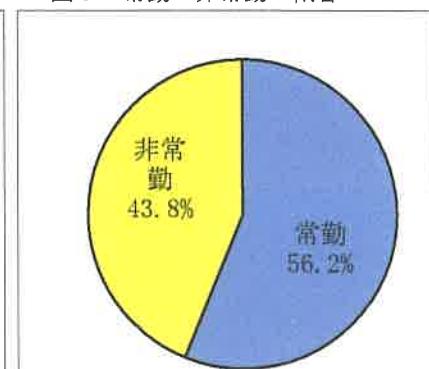


図3 常勤・非常勤の割合



常勤換算の平均は、看護職員は4.78人、リハビリ職員は0.85人であった。

看護職員の常勤換算数は、「3.0～3.9人」が34ヶ所（27.6%）と最も多く、次いで「4.0～4.9人」が26ヶ所（21.1%）であった。「2.5～2.9人」が18ヶ所（14.6%）あり、全体の63.4%が5人未満のステーションであった。

看護職員の常勤換算数を地区別でみると、中部が5.04人で最も多く、次いで西部4.86人、東部4.5人であった。

表6 看護職常勤換算数とステーション数（n=123）

常勤換算数	ST数
2.5～2.9	18
3.0～3.9	34
4.0～4.9	26
5.0～5.9	23
6.0～6.9	11
7.0～9.9	5
10.0～14.9	4
15.0以上	2
計	123

図4 看護職常勤換算数と

ステーションの割合

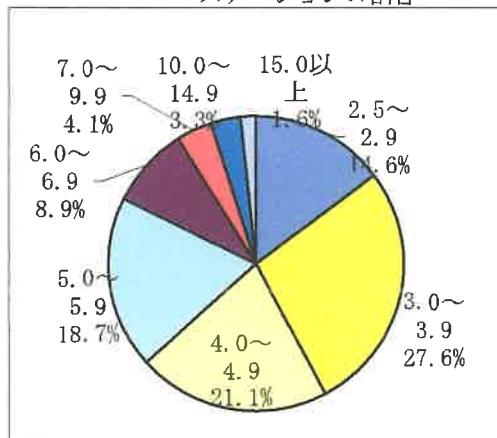


表7 看護職の地区別常勤換算数

	東部	中部	西部
看護師	3.92	4.71	4.71
保健師	0.06	0.06	0.07
助産師	0.02	0	0.03
准看護師	0.50	0.27	0.05
合計	4.50	5.04	4.86

3. 対象者別対応状況（平成21年度中）

対象者別対応状況をみると、悪性新生物に対しては119ヶ所（96.8%）と殆どのステーションが対応をしている。小児と精神については、それぞれ73ヶ所（59.4%）と対応しているステーションは少ない。

それを年齢別でみると、小児は1～6歳が最も多く、68件（50.4%）であった。難病は75～89歳が最も多く件748件（61.8%）であった。悪性新生物も75～89歳が最も多く888件（53.5%）である。精神での訪問年齢で最も多かったのは、40～64歳で148件（47.6%）であった。

表13 対象者別対応状況 (n=123)

	可		不可	
	ST数	割合	ST数	割合
小児	73	59.4%	50	40.6%
難病	115	93.5%	8	6.5%
悪性新生物	119	96.8%	4	3.2%
精神	73	59.4%	50	40.6%

表14 小児 年齢別件数

年齢	件数	割合
1歳未満	20	14.8%
1～6歳	68	50.4%
6～15歳	37	27.4%
16歳以上	10	7.4%
計	135	100.0%

表15 難病 年齢別件数

年齢	件数	割合
1～15歳	13	1.1%
16～39歳	45	3.7%
40～64歳	104	8.6%
65～74歳	274	22.6%
75～89歳	748	61.8%
90歳以上	26	2.2%
計	1210	100.0%

表16 悪性新生物

年齢	件数	割合
1～15歳	0	0.0%
16～39歳	4	0.2%
40～64歳	161	9.7%
65～74歳	404	24.4%
75～89歳	888	53.5%
90歳以上	203	12.2%
計	1660	100.0%

表17 精神 年齢別件数

年齢	件数	割合
15～39歳	38	12.2%
40～64歳	148	47.6%
65～74歳	49	15.8%
75～89歳	60	19.3%
90歳以上	16	5.1%
計	311	100.0%

4. 平成21年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の就業状況

1) 新規就業者数（平成21年度中）

就業者総数は161人であった。内訳は、常勤者は56人（34.8%）、非常勤は105人（65.2%）である。就業に繋がった募集方法で最も多かったのは、「紹介」で61人（37.9%）であった。次いで「その他」が49人（30.4%）である。記述欄を設けていなかったため、具体的な方法は不明である。ハローワークが27人（16.8%）、求人情報誌が16人（9.9%）であった。ナースセンターは8人（5%）と最も少なかった。

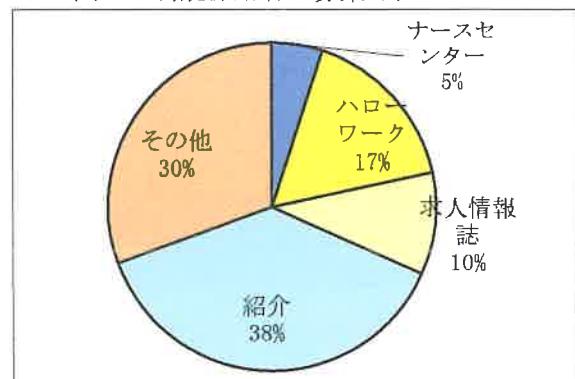
表18 看護職員の新規就業者数

	人數			計	割合
	東部	中部	西部		
常勤	19	13	24	56	34.8%
非常勤	21	39	45	105	65.2%
計	40	52	69	161	100.0%

図10 新規採用者の募集方法

表19 新規採用者の募集方法

	人數	割合
ナースセンター	8	5.0%
ハローワーク	27	16.8%
求人情報誌	16	9.9%
紹介	61	37.9%
その他	49	30.4%
計	161	100.0%



2) 退職者について（平成21年度中）

退職者総数は、常勤者46人、非常勤53人の合計99人であった。

勤続年数でみると、常勤・非常勤ともに2年までに50%以上が退職をしている。また、退職者の約20%は5年以上の勤務者である。退職理由としては、常勤・非常勤ともに本人と家族の健康問題が約30%、その他が同じく約30%を占める。次いで結婚・出産・育児が約15%、転居と続く。常勤者のみであるが、勤務時間と携帯当番の負担を理由に約10%が退職している。

表20 看護職員の退職者数と勤続年数別

勤務年数	常勤				非常勤				
	人数			計	人数			計	割合
	東部	中部	西部		東部	中部	西部		
1年未満	7	2	7	16	34.8%	3	10	2	28.3%
1~2年	2	4	2	8	17.4%	2	4	6	22.6%
2~3年	3	1	1	5	10.9%	1	0	3	7.5%
3~5年	2	2	3	7	15.2%	3	5	3	20.8%
5年以上	4	2	4	10	21.7%	1	8	2	20.8%
計	18	11	10	46	100.0%	10	27	16	53 100.0%

表21 主な退職の理由（複数回答あり）

退職理由	常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合
出産・育児	5	10.4%	6	11.3%
結婚	2	4.2%	3	5.7%
本人の健康問題	10	20.8%	14	26.4%
家族の健康問題	4	8.3%	5	9.4%
転居	6	12.5%	6	11.3%
進学	0	0.0%	0	0.0%
人間関係	1	2.1%	3	5.7%
勤務時間長い・超勤多い	1	2.1%	0	0.0%
休暇がとれない	0	0.0%	0	0.0%
携帯当番の負担が大きい	4	8.3%	0	0.0%
給与に不満	1	2.1%	1	1.9%
責任の重さ・医療事故への不安	0	0.0%	2	3.8%
その他	14	29.2%	13	24.5%
計	48	100.0%	53	100.0%

3) 求人状況（平成22年9月現在）

123ヶ所のステーションの内、84ヶ所（68.3%）が求人をしている。求人数は、「若干名」や「制限なし」「隨時」の記載を除いて、常勤94人、非常勤72人の合計166人であった。

求人方法は、「ハローワーク」が61件（37.7%）と最も多く、次いでナースセンターが43件（26.5%）であった。その他は、新聞広告、折り込みチラシ、ホームページ、知人等で29件（17.9%）あった。

表22 求人状況

	東部	中部	西部	計
常勤	25	26	42	94
非常勤	11	31	30	72
計	36	57	72	166

表23 求人方法（複数回答）

	東部	中部	西部	計	割合
ナースセンター	8	14	21	43	26.5%
ハローワーク	16	21	24	61	37.7%
求人情報誌	7	9	13	29	17.9%
その他	12	7	10	29	17.9%
計	43	51	68	162	100.0%